

事業区分：冠事業（市民）

団体名 株式会社ハーモニック・ドライブシステムズ

| | |
|----------|---|
| 事業名（商品名） | 第32回ハーモニックコンサート |
| 実施期間 | 平成27年7月4日 |
| 開催（販売）場所 | 市役所ロビー |
| 実施内容 | 株式会社ハーモニックドライブシステムズの創立10周年を記念して始めたクラシックの音楽会。 コンサートの収益金は、小・中学校の図書購入費として、安曇野市に寄贈しています。 |

安曇野市制施行10周年記念

第32回ハーモニックコンサート
**Harmonic
Concert**

2015年7月4日(土)

開場 16時30分 開演 17時00分

会場／安曇野市役所ロビー
入場券／¥1,000

全席自由／先着300名様まで

【チケット販売場所】

◎安曇野市役所 学校教育課、公民館（穂高・三郷・堀金・明科）
月～金曜日（9:00～17:00）

◎穂高交流学習センター みらい、豊科交流学習センター きぼう
火～日曜日（9:00～21:30）

※売切れの場合がありますので、事前に各販売場所にご確認をお願い致します。

主催：株式会社ハーモニック・ドライブ・システムズ

後援：安曇野市教育委員会・HDS調和会

| | |
|------|--|
| 事業名 | 第4回 あづみ野テレビカップゴルフ大会 |
| 実施期間 | 平成27年7月7日 |
| 開催場所 | あづみ野カントリークラブ |
| 実施内容 | あづみ野テレビサービスエリア（豊科・穂高・三郷・堀金・明科・梓川地域）にお住まいの方から参加者を募集し開催しました。 |

豪華景品多数

安曇野市制施行10周年記念
**第4回 あづみ野テレビカップ
 ゴルフ大会参加者募集**

ANC GOLF CUP
 あづみ野テレビカップゴルフ大会

開催日 **7月7日(火)**

会場 **あづみ野カントリークラブ**

あづみ野テレビサービスエリア(豊科・穂高・三郷・堀金・明科・梓川地域)にお住まいの皆さん、ゴルフ大会に参加しませんか!女性のご参加大歓迎!
 大会の様子はあづみ野テレビ、8月のANC特集で放送します!!

| 事業名 | 市民大学講座特別編 | | | | |
|-------------|--|-----|-----|-------|-------------------|
| 事業費 (千円) | 節 | 節名称 | 予算額 | 執行額 | 主な内容 |
| | 12 | 役務費 | 500 | 348 | 講師謝礼 |
| | 11 | 需用費 | 46 | 30 | チラシ及びポスター作成、講師弁当代 |
| | | | | | |
| | 合計 | | 546 | 378 | |
| 実施日 | 平成27年7月4日 | | | 会場 | 堀金総合体育館サブアリーナ |
| 実施主体 | 安曇野市教育委員会 | | | 課・事務局 | 生涯学習課 社会教育担当 |
| 趣旨・事業概要 | <p>健康をテーマにした講演会。 市民の健康増進への意識高揚を図る。</p> <p>【対象者 一般】 【参加人数 70人】</p> | | | | |
| 実施状況 | <p>○具体的な内容・様子 日常ながら運動推進協会代表の長野 茂さんを講師に迎え、～いつでも どこでも すぐできる～「日常ながら運動」のススメを演題にして生活習慣病を予防する</p> <p>○成果・効果 日常に取り入れることのできる運動方法を実際に実践しながらの講演だったため、話を聴いているだけでは覚えられない運動方法を学ぶことができた。</p> <p>○課題・今後の展望など 受講者が少なかったため、周知方法の工夫が必要。 また、内容について、その年に話題となったテーマを取り入れるのが良い。</p> | | | | |
| 備考 | | | | | |



実際に体験



講演会中の様子

| 事業名 | みんなでスポーツ in 常念 | | | | |
|-------------|---|-----|-------|----------------------|--------|
| 事業費 (千円) | 節 | 節名称 | 予算額 | 執行額 | 主な内容 |
| | 08 | 報償費 | 63 | 30 | 記念品 |
| | 13 | 委託料 | 5 | 5 | 花火打ち上げ |
| | | | | | |
| | 合計 | | 68 | 35 | |
| 実施日 | 平成 27 年 7 月 5 日 | | 会場 | 堀金総合体育館 ・多目的屋内運動場 | |
| 実施主体 | 安曇野市 | | 課・事務局 | 堀金地域課（堀金公民館） | |
| 趣旨・ 事業概要 | <p>誰にでも気軽にできる軽スポーツをみんなで一緒に楽しみながら、仲間づくり・地域づくりに取り組む。（毎年開催）</p> <p>【対象者 地域住民】 【参加人数 約190人】</p> | | | | |
| 実施状況 | <p>○具体的な内容・様子</p> <ul style="list-style-type: none"> 堀金公民館と堀金地域体育協会との共催。 親子で楽しめる軽スポーツ7種で開催。 <p>○成果・効果</p> <ul style="list-style-type: none"> 屋内外で開催の予定であったが、雨天のため総合体育館内で開催。 アンケートからも家族で楽しめたスポーツと好評であり、他地域の住民とも交流がうまれた。 堀金地域の地区公民館役への軽スポーツ浸透につながった。 <p>○課題・今後の展望など</p> <ul style="list-style-type: none"> 27年度は参加者が例年より2割減であった。内容の検討、広報の改善等が求められる。 | | | | |
| 備考 | | | | | |



フライングディスク



グラウンドゴルフ

| 事業名 | あやめスポーツ大会 | | | | |
|-------------|--|-----|-----|-------|---|
| 事業費 (千円) | 節 | 節名称 | 予算額 | 執行額 | 主な内容 |
| | 08 | 報償費 | 200 | 146 | 大会運営協力者謝礼 |
| | 08 | 報償費 | 137 | 102 | 大会記念品（参加賞・入賞） |
| | 11 | 需用費 | 40 | 45 | 大会用消耗品代 |
| | | 合計 | 377 | 293 | |
| 実施日 | 平成27年7月5日 | | | 会場 | 龍門湖公園運動広場・上押野河川敷グラウンド・ 明科体育館・御宝田マレットゴルフ場 |
| 実施主体 | 安曇野市 | | | 課・事務局 | 明科地域課（明科公民館） |
| 趣旨・ 事業概要 | <p>地域住民が気軽に参加でき、世代間交流や地域住民同士の交流が深まる魅力ある大会の企画、運営を住民参加型で行う。</p> <p>今年度は記念事業と位置付け、大会開催時期や参加資格の見直しを行い、より多くの住民が参加できる大会とした。</p> <p>【対象者：地区公民館（地域住民）】</p> <p>【参加人数：約770人】</p> | | | | |
| 実施状況 | <p>○具体的な内容・様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度の反省を踏まえ、多くの住民が参加できる例年どおりの7月開催 ・高齢化や核家族化が進み、地域内で参加者を集めることが困難となってきたため、より多くの住民が参加できるよう参加資格を見直した。 ・具体的には上記を踏まえ、区単位や公民館連合単位での参加資格とした ・種目は、ソフトボール・ワンバウンドバレー・マレットゴルフの3種目 <p>○成果・効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれ種目別に見ても、大会参加を棄権する公民館が少なくなった。 ・天候にも恵まれたが、開催時期や参加資格の見直しにより、多くの住民が参加し、盛大に開催することができた。 <p>○課題・今後の展望など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住民の高齢化や世代間の交流が進まない現状の中で、地区公民館内ではチームを編成できなくなっている。 ・更なる参加資格の見直しや競技種目の見直し等により、より多くの住民が気軽に参加できるよう企画、運営していく必要がある。 | | | | |
| 備考 | | | | | |



ワンバウンドふらば〜るバレーボール (明科体育館)



マレットゴルフ (御宝田マレットゴルフ場)



ソフトボール (上押野河川敷グラウンド)

| | | | | | |
|---------------------------|---|-----|-------|--------------|-------|
| 事業名 | 安曇野市男女共同参画フォーラム 2015 | | | | |
| 事業費 (千円) | 節 | 節名称 | 予算額 | 執行額 | 主な内容 |
| | 08 | 報償費 | 9 | 0 | 託児 |
| | 11 | 需用費 | 5 | 5 | 演台用生花 |
| | 12 | 報償費 | 9 | 0 | 託児保険料 |
| | | | | | |
| | 合 計 | | 23 | 5 | |
| 上記の補助金等を含めた事業の総額【 555 千円】 | | | | | |
| 実施日 | 平成 27 年 7 月 11 日 | | 会 場 | 穂高会館（公民館 講堂） | |
| 実施主体 | 安曇野市・安曇野市男女共同 参画フォーラム実行委員会 | | 課・事務局 | 人権男女共同参画課 | |
| 趣 旨 ・ 事業概要 | <p>「フォーラム」は、男女共同参画意識の高揚を図るため、男女共同参画推進会議役員、男女共同参画コミュニケーターで実行委員会を組織し、企画、周知、運営を行い開催した。</p> <p>【対象者 一般市民】</p> <p>【参加人数 150 人】</p> | | | | |
| 実施状況 | <p>○具体的な内容・様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オープニング ペープサート（紙人形劇） 「役職に活かしてみよう、女性の能力」 ・第 1 部 講演 講師 前長野県副知事 加藤さゆりさん 演題「女性の力で地域を元気に」 ・第 2 部 トークセッション（トークゲストと会場との意見交換） トークゲスト 加藤さゆりさん、赤沼留美子さん（㈱マイル・ラボ パートアルバ 労働総合研究室代表取締役） テーマ「これからの働き方をどう考えるか」 ・ジェンダーに関するパネル展示 <p>○成果・効果</p> <p>アンケートには、「具体的なデータに基づいた講演で分かり易く、現在の政府の方針、県の政策などよくわかった」や「続きをやってほしい」といった意見もあった。</p> <p>○課題・今後の展望など</p> <p>若年層の参加者が少ない、広報活動の方法など。</p> | | | | |
| 備 考 | | | | | |



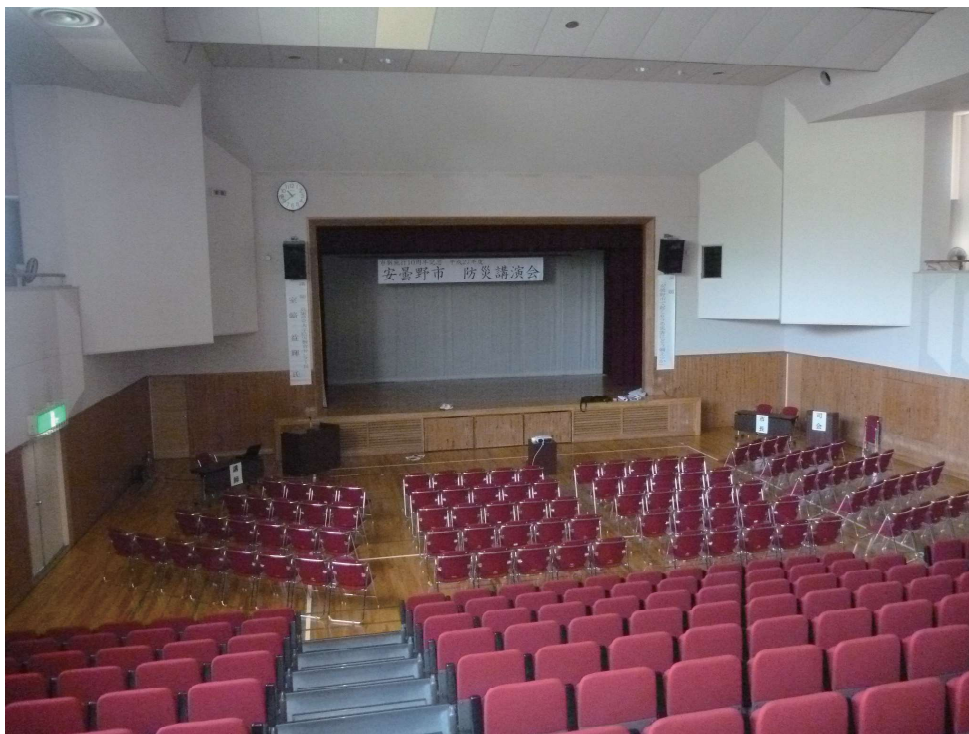
講演会



トークセッション

| 事業名 | 安曇野市防災講演会 | | | | |
|-------------|--|-----|-------|-------------------|----------|
| 事業費 (千円) | 節 | 節名称 | 予算額 | 執行額 | 主な内容 |
| | 08 | 報償費 | 200千円 | 200千円 | 講演会講師謝礼 |
| | 09 | 旅費 | 21千円 | 21千円 | 講演会講師旅費 |
| | 11 | 需用費 | 1千円 | 1千円 | 講演会講師昼食代 |
| | | 合計 | 222千円 | 222千円 | |
| 実施日 | 平成27年7月12日 | | 会場 | 堀金総合体育館 サブアリーナ | |
| 実施主体 | 安曇野市 | | 課・事務局 | 危機管理課 | |
| 趣旨・事業概要 | <p>市制施行以降、大規模な災害に見舞われたことがない安曇野市において、市民の防災意識を高めてもらうため、防災講演会を開催した。</p> <p>【対象者：安曇野市民】</p> <p>【参加人数：290人】</p> | | | | |
| 実施状況 | <p>○具体的な内容・様子 「安曇野市で起こりうる災害にどう備えるか」をテーマに、兵庫県立大学防災教育センター長の室崎益輝先生を講師に招き、講演会を開催した。</p> <p>○成果・効果 大規模災害には、被害を減らす減災に取り組むことが重要とし、居住地域の防災計画を作成し、できることから取り組むことが大切だという内容であり、市民の防災意識の高揚に資した講演会であった。</p> <p>○課題・今後の展望など 参加者から、安曇野市や長野県に対する知識が明るい人を講師に招いてほしいという要請があったため、次年度については、信州大学教授を講師に招き、講演会を開催する予定である。</p> | | | | |
| 備考 | | | | | |

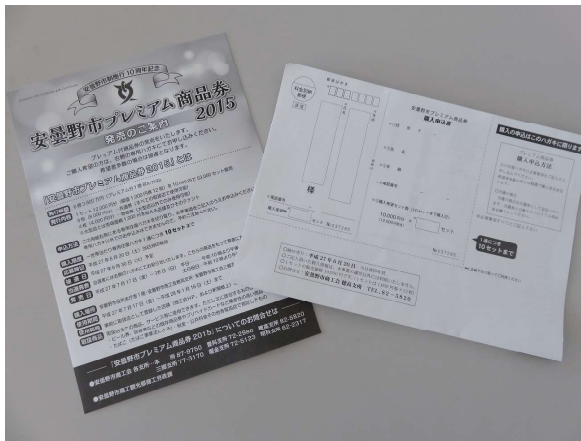
準備の様子



講演の様子



| 事業名 | プレミアム商品券の発行 | | | | |
|-------------|--|----------------|---------|---------|----------------------------------|
| 事業費 (千円) | 節 | 節名称 | 予算額 | 執行額 | 主な内容 |
| | 19 | 負担金補助 及び交付金 | 133,000 | 133,000 | プレミアム分負担 106,000 事務費負担 27,000 |
| | 合計 | | 133,000 | 133,000 | |
| | 上記の補助金等を含めた事業の総額【663,000千円】 | | | | |
| 実施日 | 平成27年7月17日～ | | 会場 | 市内加盟店 | |
| 実施主体 | 安曇野市商工会 | | 課・事務局 | 商工労政課 | |
| 趣旨・ 事業概要 | 市制施行10周年に合わせて、12,000円分のプレミアム商品券を、1万円で購入利用していただくため、商工会で作成・販売を行い、市内商店街等の振興や消費の増加を図る。 【対象者 一般市民】 | | | | |
| 実施状況 | <p>○具体的な内容・様子</p> <p>国の「地域住民生活等緊急支援交付金」を活用し、地元消費の拡大と地域経済の活性化を図ることを目的に「安曇野市プレミアム商品券2015」の発行を行いました。</p> <ol style="list-style-type: none"> 発行額（額面） 636,000千円 額面12,000円（共通券8,000円、普通券4,000円）の商品券を10,000円にて53,000セット販売 プレミアム率 20% 使用有効期間 平成27年7月17日（金）～平成28年1月16日（土） 実施主体 安曇野市商工会 販売結果 <ol style="list-style-type: none"> 一次販売（販売制限：1世帯10セット）販売実数：48,341 市広報あづみのお知らせ版（H27.6.3発行号）に、発売のご案内とともに専用往復ハガキを折込み、6月20日消印有効にて応募を受け、7月17日（金）～26日（日）の10日間にて発売しました。 販売場所は市役所本庁舎、商工会穂高支所、商工会三郷支所の3カ所。 二次販売（販売制限：ハガキ1通につき10セット）販売実数4,659 一次販売開始の2日目となる7月18日（土）の新聞朝刊（全市）に2次販売をお知らせするチラシを折込み告知し、7月29日消印有効にて応募を受け、8月7日（金）～10日（月）の4日間にて発売しました。販売場所は商工会穂高支所の1カ所。 取扱店の範囲 申込みをした市内の店舗、事業所 販売期間中随時受付。（最終店舗数：778店舗） 換金方法 月2回の締日（5日、20日）を設け、窓口（商工会）にて換金手続きを行い事業所の口座へ振込（15日、末日）。大型店はJ S Uによる有料回収換金を行いました。 <p>○成果・効果</p> <p>平成28年1月20日換金受付時点での使用状況は以下の通りです。</p> <p>発行総額 6億3,600万円 換金額 6億972万8千円（95.9%） 内、大型店 330,829千円（54.26%） 普通店 278,899千円（45.74%）</p> <p>発行内容と比しても大型店以外での利用率も高く、飲食店や地域の小売店、観光施設など地元消費にも大きな成果がありました。</p> <p>また、多くの市町村で行列先着販売方式をとったが、当市では事前申込抽選方式をとり、大きな混乱もなく販売できました。</p> <p>○課題・今後の展望など</p> <p>使用された店舗、アンケート等を分析し、より効果的なプレミアム商品券の発行について検討し、対応できるようにしておく。</p> | | | | |



▼発売のお知らせと専用ハガキ
(市広報あづみのへ折込み)



▼事前告知のための新聞広告
(市民タイムス、タウン情報)



▼販売窓口の様子



▼取扱店一覧 (購入者へ配布)



▼プレミアム商品券



▼二次販売・抽選の様子

| | |
|-------|--|
| 事業名 | 企画展「うるしのみらい～高橋節郎に続く人々～」 |
| 実施期間 | 平成27年7月18日～9月13日 |
| 開催場所 | 安曇野高橋節郎記念美術館 |
| 実施内容 | 美術学校を離れてから、芸術家として目覚ましい活躍を示し続けた高橋節郎は、1976年、母校の東京藝術大学の教授に就任します。6年間という短い歳月でしたが、この間、高橋の下に学んだ学生たちは、現在、日本のみならず世界で活躍する芸術家となっています。 このたびの展覧会では、高橋節郎に学んだ学生の中から、現在、教授・准教授として各地の美術大学にて教鞭をとっている作家9人を紹介します。さらに、その中で漆工を担当する5人の作家に9人の若い注目作家を推薦していただきました。現在も引き継がれている高橋節郎の想いを通し、未来の漆表現の行方を探る機会となりました。 |
| 参加者数等 | 参加者 2,640名 |



| | |
|-------|---|
| 事業名 | 第35回穂高新屋地区・江戸川瑞江地区夏の少年少女交歓会 |
| 実施期間 | 平成27年7月24日～7月26日 |
| 開催場所 | 江戸川区立「穂高荘」キャンプ場 |
| 実施内容 | <p>7月24日(金)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジャガイモ堀の体験 ・岩魚のつかみ取り ・ジャガイモで豚汁、岩魚の塩焼きをおかずに夕食で交流。花火大会。 <p>7月25日(土)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カレーパーティーの準備（子どもが手伝い） ・キャンプファイヤーでの交歓会（江戸川区長、安曇野市長メッセージ交換他） |
| 参加者数等 | 参加者 123人 |

江戸川区瑞江地区交歓会参加の皆さん



| 事業名 | 第36回あづみ野祭り | | | | |
|----------------------------|---|-----|-------|---|--------------|
| 事業費 (千円) | 節 | 節名称 | 予算額 | 執行額 | 主な内容 |
| | 19 | 補助金 | 4,000 | 4,000 | 安曇野祭り運営・事前準備 |
| | 合計 | | 4,000 | 4,000 | |
| 上記の補助金等を含めた事業の総額【 6,498千円】 | | | | | |
| 実施日 | 平成27年7月25日 | | 会場 | 国道147号線（新田交差点～成相交差点） 豊科駅前通り（鮭昌交差点～旧NTT前） | |
| 実施主体 | あづみ野祭り実行委員会 | | 課・事務局 | 豊科地域課 | |
| 趣旨・事業概要 | <p>あづみ野祭りをとおして市民の連帯感と「心のふるさと」づくりに努め、観光の促進と文化厚生の発展に資し、かつ産業経済の進展に寄与することを目的とする。</p> <p>第36回あづみ野まつり実施イベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安曇野ばやし踊り ・安曇野太鼓による演奏（オープニング） ・安曇野市消防団音楽喇叭隊による行進、開会式のファンファーレ ・こども広場 木工広場、ヨーヨー釣り、ジュース等販売など ・安曇野ふれあい広場 安曇野太鼓、休憩スペースなど ・まちづくりイベント 「たんぼぼ」無料ソフトドリンクサービス <p>【対象者 安曇野市民、地区公民館、企業、団体、市外の観光客等】</p> <p>【参加人数 10,000人】</p> | | | | |
| 実施状況 | <p>○具体的な内容・様子</p> <p>平成27年度は地区公民館や企業など46連3,200人が参加し、安曇野ばやし踊りを踊りました。毎年恒例の「あづみ野ばやし踊りコンテスト」も実施され、整然とした踊りの中にも個性豊かな熱演や努力を行った連が表彰されました。</p> <p>○成果・効果</p> <p>あづみ野ばやし踊りに参加した地区公民館や団体、企業は、あづみ野祭りに向け、何度も踊りの練習を実施し、本番を迎えました。当日も各連とも和気藹藹とした雰囲気ですらに熱気をもってあづみ野ばやし踊りを踊っていました。これらにより、地域住民間・市民同士の連帯感が醸成され、「心のふるさと」づくりに寄与しました。</p> <p>また、あづみ野祭り当日は市内外から約10,000人の人出があり、安曇野市の観光面、地域商店街の振興と活性化に資するイベントとなりました。</p> <p>○課題・今後の展望など</p> <p>出店の出展や交通の面において、年々安全対策に対する要求が高くなっています。限られた資金の中で、どのように安全で事故のないあづみ野祭り運営を行うかが課題となっております。</p> <p>あづみ野祭り実行委員会という組織はあるものの、まだ事務局の支援によって事業運営が成り立っている面も多く、協働という観点からそれぞれの役割分担について常に見直しを図っていく必要があると思われます。</p> | | | | |



(上) オープニングの安曇野太鼓の演奏
(下) 「あづみ野ばやし踊り」を踊る踊り連の様子

| 事業名 | | あづみの新進音楽家公開オーディション | | | |
|-------------|---|--------------------|-------|-------------------------------|---------------|
| 事業費 (千円) | 節 | 節名称 | 予算額 | 執行額 | 主な内容 |
| | 08 | 報償費 | 200 | 180 | 審査員謝礼 |
| | 11 | 需用費 | 8 | 3 | 審査員昼食（お弁当） |
| | 12 | 役務費 | 152 | 152 | 新聞広告料 |
| | 13 | 委託料 | 210 | 300 | 募集要項・ポスター製作業務 |
| | 合計 | | 570 | 635 | 募集要項を増刷した為増額。 |
| 実施日 | 平成27年7月25日 | | 会場 | 穂高交流学习センター「みらい」 (多目的交流ホール) | |
| 実施主体 | 安曇野市 | | 課・事務局 | 図書館交流課 | |
| 趣旨・ 事業概要 | <p>市制施行10周年を記念して、昨年度まで行ってきた「あづみの新進音楽家演奏会」から、「あづみの新進音楽家公開オーディション」と名称を改め、参加資格のお住まいを安曇野市から松本広域等に、年齢も「20才～30才前半まで」から「高校生以上」に、対象を拡大し開催した。更に、安曇野市の小・中学生を対象としたジュニアの部を新設した。</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者：一般の部 安曇野市近隣の市町村（松本広域等）に在住・在学・在勤者（高校生以上として、年齢は問わない） ジュニアの部 安曇野市在住・在学の小学5年生から中学3年生まで限定 参加人数（応募者） 一般の部8組12人 ジュニアの部13組19人 参加人数（来場者） 一般の部78人 ジュニアの部69人 | | | | |
| 実施状況 | <p>○具体的な内容・様子</p> <ul style="list-style-type: none"> ジュニアの部 午前9時半開演。審査員5人（飯沼信義先生、井上將興先生、小畑善昭先生、筒井年恵先生、高橋いづみ先生）により、それぞれのステージ演奏を審査して頂いた。 フルート独奏1組、ヴァイオリン独奏1組、トランペット独奏1組、アンサンブル1組、ピアノ独奏7組、ピアノ連弾2組 一般の部 午後1時半開演。審査員3人（飯沼信義先生、井上將興先生、小畑善昭先生）により、それぞれのステージ演奏を審査して頂いた。 メゾソプラノ独唱1組、ソプラノ独唱1組、ヴァイオリン独奏2組、ファゴット独奏1組、ピアノ独奏3組 <p>・ジュニアの部、一般の部とも、演奏終了後、審査員の先生方と、クリスマスコンサート、ミニコンサート、ジュニアクラシック音楽会の出演者を選出する為の協議をした。</p> <p>○成果・効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ジュニアの部は初めての試みだったが、当日は演奏者の熱演を、来場者は静かに耳を傾けていた。一般の部を上回る13組の応募があり、子ども達が日頃の練習の成果を披露する場を提供することが出来た。今後の音楽活動に対しての意欲を促せたと思われる。 <p>○課題・今後の展望など</p> <ul style="list-style-type: none"> 一般の部の応募資格の範囲（年齢・お住まい等）を広げたが、予想より応募者が少なかった。優良な鑑賞事業を市民に提供することも目的の一つであるため、一般の部の応募資格の範囲は、更に広げたい。また、ジュニアの部についても、子ども達の音楽活動の意欲を促進し、安曇野市の音楽振興に積極的に携わっていく人材の育成に繋がるよう、長期的視点に立ち継続して行いたい。 | | | | |



ジュニアの部



一般の部



選考の様子